

## 第2回 新潟市中央区文化施設指定管理者申請者評価会議

### 会議録（旧日本銀行支店長役宅について）

日時：令和4年10月21日（金）午後1時30分から

会場：新潟市中央区役所 4階 401会議室

委員：神田 剛（新潟シティガイド代表）

黒野 弘靖（新潟大学工学部工学科准教授）

高野 妙子（高野妙子税理士事務所代表）

羽賀 康明（新潟商工会議所事業部次長）

山崎 誠子（日本大学短期大学部准教授）

事務局：中央区地域課長、同課課長補佐、同課産業文化振興室係長、他2名

傍聴者：0名

公開プレゼンテーション議事録：

事務局	<p>それでは、これより、旧日本銀行新潟支店長役宅の公開プレゼンテーションを開始させていただきたいと思います。</p> <p>なお、プレゼンテーションの持ち時間は15分となっております。終了1分前になりましたらベルを鳴らしますので、残り1分以内で終了するようにしてください。そのあとのヒアリング時間は15分程度となっておりますので、お願いいたします。それでは、プレゼンテーションを開始してください。お願いします。</p> <p>新潟絵屋・新潟ビルサービス特定共同企業体 プレゼンテーション（省略）</p>
事務局	<p>ありがとうございました。続きまして、委員の皆様からご質問等、ヒアリングをお願いしたいと思います。ご質問等はいかがでしょうか。</p>
高野委員	<p>プレゼンテーション、どうもありがとうございました。とても分かりやすくよかったですと思います。非常に自主事業に力を置いていらっしゃるということが、プレゼンから伝わってきました。いろいろなイベントに本当に力を入れていらっしゃるなという実感があるのですが、数字を見ると、自主事業の収入が</p>

申請者	<p>20万円という形になっています。それこそ入館料無料であったり、そもそも美術展示の内容で料金をそれほど徴収できないというような制約があるのかもしれませんが、20万円のところはもう少し伸びしろがあるのでしょうか。</p> <p>様式16の収支予算書を見ると、実施事業収入20万円に対し自主事業費15万円ということで、自主財源を5万円で計上しています。20万円で精一杯やられているのだと思うのですが、まだ伸びしろがあるのかなということをお伺いしたいと思います。</p> <p>砂丘館の自主事業はほとんど企業メセナで、寄付をいただいております。いろいろな企業を回りまして、毎年、企業メセナということで寄付をいただいております。それが一番大きな財源になっております。それから、砂丘館の中に募金箱を置かせていただいたりして、そういう寄付で自主事業を運営して、指定管理料はほとんど管理運営費で使っています。</p>
高野委員	<p>そうしますと、この20万円は寄付金額ではないのですか。</p>
申請者	<p>そうです。それ以外に寄付金額があるという感じです。ここに載っている自主事業の財源は甜茶です。</p>
高野委員	<p>やはり、お茶ですか。</p>
申請者	<p>そうです。甜茶と、あとはコーヒーなども出すのですが、喫茶業務です。</p>
高野委員	<p>喫茶業務で20万円ということですか。</p>
申請者	<p>はい。展覧会などをやるときの自主財源としては、寄付で運営しております。</p>
高野委員	<p>なるほど。例えば、この事業以外に、物販がいいかどうかは分かりませんが、何か自主財源を増やす伸びしろはありそうなものなのではないでしょうか。</p>
申請者	<p>物販はやはり自主事業でやっているのですが、それほどの収益は上がっていません。旧齋藤家別邸などと違いまして、そ</p>

高野委員	<p>れほど大勢のお客様がいらっしゃるわけではないので。ですから、やはり、企業メセナです。その企業メセナの収支は自主事業ということで、新潟絵屋が全部管理しておりまして、指定管理料とは別になっているので、こちらには載せていません。</p> <p>分かりました。ありがとうございます。</p>
山崎委員	<p>ご説明、ありがとうございました。スタッフで自主事業を担当している方がいるのですけれども、自主事業のアイデアを出したり運営の状況はどのようになっているのですか。</p>
申請者	<p>非常勤の方で自主事業担当の方が2名おりまして、実施事業の経理と企画をやっています。しかし、主として館長が企画等をして、スタッフが補佐をするという形になっております。</p>
山崎委員	<p>熱い思いでやっている人が一人いて、それにみんな動かされて物事が動いたりということが、アート系はとて多と思うのですけれども、バックアップ体制ですとか、17年間の歴史の中で続いてきた体制みたいなものが、突然続けられなくなるようなことがあれば、本当にそこが怖いなと思っています。けれども、次なるバックアップという意味では、今の体制で何か起こってもこんな人材を育成しているみたいな話があればお聞きしたいと思います。</p>
申請者	<p>おっしゃるとおりだと思います。先ほどのプレゼンの中で申し上げましたが、一時期は副館長という正社員の方を採用して、そういう体制を築いていこうとしたのですが、今の指定管理料ではとても二人の正社員を雇用することができませんでした。本当はその方もとてもいい方で、熱心に美術のほうをやりたいという希望を持った方だったのですけれども、生活ができるだけのお金を渡せず辞めていってしまいました。今後そういう形でやっていくのは無理だということで、今はパートの職員が受付を専門でやるという形になっています。</p>
山崎委員	<p>アート事業を続けていくためのバックアップ体制というのは本当にとて大事な事だと思います。事業者と新潟市が新潟市のアート文化をどうするのかという意見をうけて、今後管理するだけではなくて何をしていくのか。実際アートで町おこし</p>

	<p>とかも多いので、そういう意味では人件費がもう少し何とかならないのかなと。本当に17年間続けられていることが奇跡に近いのではないかと私は思っています。自主事業も企業メセナももっと何かやりやすいようなことを皆さん考えていくことを望みたいと思います。</p>
申請者	<p>ありがとうございます。</p>
羽賀委員	<p>受付を大体2人か3人くらいで回しておられると思うのですが、館長も受付をやったりして何でも屋になれば副館長をもう一人置けるのではないかとと思うのです。受付のスペース的に厳しいのかもしれませんが。</p>
申請者	<p>パートの人もポス特的には1ポストなのです。9時から21時まで開館していますので、だいたい3交替で勤務しています。常駐しているのは一人しかおりません。</p>
羽賀委員	<p>先ほどからおっしゃっていたように、何か、館長が長期間不在になるようなことがあると回らなくなるのではないかと心配がありまして、副館長を置いておいたほうがいいのではないかと、無理してでも。</p>
申請者	<p>本当にそうなのです。そうしないと、館長もいろいろなことをしていらっしゃる方ですので、砂丘館にずっといるというわけでもないの、企画展などですと、そのために外出もしますので、副館長のような人がいれば理想的だとは思いますが。</p>
羽賀委員	<p>ありがとうございました。</p>
神田委員	<p>企画展がすごいというのは、私は何回も見て感じていますし、ボランティアで対応しているときもお客様も喜んでおられます。館長の能力と人脈をいろいろ駆使されてこれまで来られたと思うのですけれども、やはり、今の話に関連して、管理の部分がなかなか、このいただいた資料を見ても見えてこない部分ですよね。</p> <p>羽賀委員から話がありましたけれども、例えば、常勤でなければだめだとか、副館長でなければだめだとかということも大事なのですけれども、例えば、4ページに表がありますけれど</p>

申請者	<p>も、これは主に企画を進めていくためにこのように役割分担をしますという表だと思うのです。やはり、この企画展の業務分担以外に管理上誰が中心になっていくのかという役割について、館長が今全部の業務を持っているとしたら、その持っているものの一つを副任としてここにはめていくみたいなことをしたらどうかという気もしているのです。</p> <p>例えば、一番心配なのが、火事の時です。館長がいないときの避難は誰が中心になってやるのでしょうか。</p> <p>受付は交替で6人なのですけれども、夜専門の人もいます。その中で主となって受付をしている者が3人いるのですが、勤務経験が長い者もいて、管理の面はその者が主となってやっております。受付担当も主となって火事の対応ができるよう訓練をしておりますし、そういうことになっても大丈夫なのではないかと思っております。</p>
神田委員	<p>それは、例えば、一覧表みたいになっていて、自分の役割は何だということが見られるようなものが別にあるということですか。</p>
申請者	<p>年に2回、必ず消防訓練をしております、そのときにそれぞれどういう仕事をする、火事が起きたときに避難誘導の係とか、それから初期消火の係とか通報の係とか、役割を決めて訓練をしております。入れ替わり立ち替わりでローテーションを組んで勤務しておりますので、この人がいつもこれをするというわけではなく、主としている受付の者がこれをやって、そのときの状況によって、もう一人いればその方がこういうことをするというようなことを訓練の中で確立して対応できるようにしております。</p>
神田委員	<p>そうですね。ありがとうございました。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。それでは、15分になりましたので、以上で旧日本銀行新潟支店長役宅のプレゼンテーションを終了とさせていただきます。</p>